



2019.9

# THE TIA NEWS VOICE

編集・発行 公益財団法人高松市国際交流協会

No.54

(公財)高松市国際交流協会では、今後も、定例事業に加え、様々な事業・イベントを開催し、より多くの有意義な国際交流の場を提供いたします。新たな発見、新たなつながりを目指して、更なる国際交流に努めてまいります。今後の協会事業に、ふるってご参加ください!



セント・ピーターズバーグ市高校生親善研修生派遣事業



第25回中学生訪中親善訪問団派遣事業



国際交流支援事業前期②【ポリウッドダンスワークショップ】



第15回小学生英語暗唱大会



第17回さぬき探訪



Kid's 国際理解出前事業



国際交流こどもスクール【世界のクラフト教室】



世界のスイーツ教室(南アフリカ編)



# 令和元年度 セント・ピーターズバーグ市 高校生親善研修生派遣事業



7月22日から8月1日までの11日間、高松市の姉妹都市であるアメリカ、フロリダ州セント・ピーターズバーグ市へ、高松市の高校生3名、引率者1名を派遣。滞在中は、市長表敬や商工会議所で高松市を英語で紹介したり、大リーグタンパベイ・レイズの野球観戦、折紙のワークショップ、タリ美術館見学等、様々な研修を体験しました。関係者の方々、ホストファミリー、その他関わってくださったすべての方々の温かいホスピタリティーとサポートを受けながら、研修生にとってかけがいのない体験となりました。



## 【大岡 育之助】高松西高等学校2年

### 【ホストファミリーとの交流を通して】



僕は、この海外研修で、とてもたくさんのことを学びました。その中でも、僕の中で最も大きかったものは、ホストファミリーの存在です。僕が少しでも悩んでいたら、我が子のように親身になって相談に乗ってくれました。また、ホストファミリーのおかげで、たくさんの友達を作ることができ、たくさん会話することによって自身の積極性や英語能力、またコミュニケーション能力が向上したことを実感しました。加えて、研修地で行った警察署見学では、日本の警察署と施設や制度が大幅に違っており、とても興味を持ちました。同時に、文化や政治にも興味を湧きました。この体験を体験で終わらせず、実生活や将来に活かしていけたらいいなと思いました。

## 【白石 萌絵】高松第一高等学校1年

### 【価値観】



私は、この10日間のアメリカでの生活で、自分の中の価値観が変わった。私は今まで、何かものを買って、受け取る時にわざわざ「ありがとうございます。」と言っていなかった。代金を払っているのだから、してくれて当たり前だと思っていたからだ。しかし、私のホストファミリーは、商品を受け取る時や、ドアを開けてくれたときなど、常に「Thank you.」を言っていた。相手に対して、敬意を持ち、感謝の気持ちを忘れずに接している姿を見て、今までの考え方を改めさせられた。このような経験は、日本にはできないだろう。このような貴重な経験をさせてくれた国際交流協会の方をはじめとし、私に関わってくれた方々には感謝でいっぱい。これからも国際交流に積極的に参加していきたいと思う。

## 【菅 凜太郎】高松高等学校1年

### 【新しい目標を教えてくれた研修】



セント・ピーターズバーグ市での、たったの10日間で、私の人生は大きく変わりました。日本とは違う文化に触れたり、英語だけで生活したりと、はじめての経験尽くしでした。私は、積極的に物事に取り組みようという目標を立てて、セント・ピーターズバーグ市での生活を過ごしました。積極的に挑戦したものの、自分の英語の能力が足りず、悔しい思いを何度もしました。私は、この研修を通して、もうこのように悔しい思いをしないように、英語の勉強を必死に頑張ろうと決意しました。そして、将来もう一度自分の力で、セント・ピーターズバーグ市の家族に会いに行けるように、今回の研修で学んだことを活かして、今後も努力をしていきたいと思っています。

にほんご ゆめ、ひと にほんご きそ べんきょう ひと  
日本語で夢をかなえたい人・日本語を基礎から勉強したい人

みなと仲良く 楽しく日本語を勉強しませんか？

- レベル別クラス設置 ●担任制 ●学生寮
- じゆぎょうけんがく がっこうせつめいかい ずいじかいさい
- 授業見学・学校説明会 随時開催!!



学校法人穴吹学園  
専門 穴吹ビジネスカレッジ 日本語学科

〒760-0020 高松市錦町1丁目11番1号 TEL: 087-823-7700 FAX: 087-821-3750  
E-mail: happy-nihon-go@anabuki.ac.jp http://www.anabuki.ac.jp/college/ajk/





## 第25回中学生訪中親善訪問団派遣事業

平成2年度から始まった中学生海外派遣事業も、今回で25回目を迎えることができました。

春休みを利用し、高松市の中学生7名(男1、女6)と引率2名の計9名は、3月24日から29日までの6日間、中国(南昌・上海)を訪問しました。

南昌市滞在中は、昨年高松市を訪問した南昌市第一中学校訪問団の生徒宅にホームステイをしながら、市政府表敬訪問、現地中学生との交流、歴史建造物の見学など様々なプログラムを通じて現地の人と交流を深めました。スケールの大きさに圧倒されながらも、現在の中国を肌で感じることができました。ホームステイでは、言葉が通じにくい環境の中で、ホストファミリーの優しさに触れ、心と心を通い合わせ、忘れることのできない思い出となりました。団員達にとって、この事業を通じて得た経験は、将来に向けて踏み出すための大きな一歩となりました。



## 令和元年度 ロシア モスクワ市立教育大学短期研修団ホームステイ

モスクワ市立教育大学日本語短期研修団一行が、7月3日から22日までの日程で来日しました。

滞在期間中、当協会のアレンジで6名の研修団員が2泊3日のホームステイを体験しました。観光名所地を回ったり、うどん作りを体験したりして、互いに楽しい思い出をたくさん作りました。

ホームステイを受け入れたみなさんからの御感想(一部抜粋)を掲載します。

「一緒に食事したり、観光地を回ったり始終楽しかった。和食が好きとのことだったが、納豆と梅干は初めてのチャレンジでもおいしい味と言いながら食べていた。次の機会があればまた受け入れたい。」

「日本に住んでいる私達だけでは興味をもってなかったことや場所に行くことで、改めて、「日本」「香川」を知ることができたと思います。歌舞伎や書道、アニメなど、逆に教えてもらうことが多く、もっと勉強しなくてはと感じました。」

「お互いの言語がほとんど分らない中、グーグル翻訳に助けをもらいましたが、迷訳、珍訳もけっこう多く、それが逆に大笑いのネタになり、もりあがりました。違う言葉、違う着眼点に新鮮な驚きや発見があり、とても勉強になりました。」

「抹茶をだして少し説明すると、川端康成の「千羽鶴」という作品で少し知っていますと、日本の文化に対する造詣の深さに驚かされました。最終日に送ってお別れする際、涙がこぼれました。たった2泊3日でしたが、たくさんの素敵な思い出ができました。」

「初めてホームステイを受け入れることで、不安でいっぱいでしたが、受けてみると、もう一人の子どもができたみたいで楽しかったです。とてもいい経験になりました。」

「私達より日本のサブカルチャに詳しく、教えてもらうことがたくさんありました。中学のバスケットボールの総体も見学して、とてもよい経験だったといってくれました。」



## 世界のスイーツ教室 第12回 南アフリカ編「ミルクタルト」

世界のスイーツ教室では様々な国のお菓子作り体験を通じて、気軽に楽しくその国の食文化や習慣などの異文化交流を図っています。

今回は4月21日(日)にピポット高松ッキングスタジオにて、南アフリカの人気のおやつ「ミルクタルト」を作りました。南アフリカ出身の講師、マセバロ・ンチャベレンさんのお母さんが考案した電子レンジで簡単に作れるレシピで、コンデンスミルクや牛乳などを使って作りました。最後にたっぷりタルトの上にシナモンを振りかけるのが特徴です。その他にも南アフリカの歴史や言語、習慣、食文化などの説明を聞いたりしました。最後に本場南アフリカのルイボスティーとミルクタルトを試食し、美味しく楽しいイベントとなりました。



## 国際交流こどもスクール

令和元年度も、こどもたちに楽しく身近に感じられる国際交流・異文化交流の場を提供する「国際交流こどもスクール」を開催しています。様々な体験を通じて世界のことを楽しく学ぶ内容です。今年度は4回内容の違うイベントを予定しております。是非、お気軽に御参加ください!

### 【世界のクラフト教室—中国編—】

令和元年8月4日(日) 13:30-15:30  
開催場所: アイパル香川 第1会議室

世界の工作を作ることで、その国の文化を楽しく学んでもらう趣旨のもと、今年度は中国の灯籠を作りました。講師は、香川県国際交流員の王 淑婷(おう しゅくてい)さん。中国のクイズや伝統的な灯籠について紹介してくれ、こどもたちは興味を持って話を聞いていました。灯籠作りでは、好きな色を選んで、飾りつけをしたり、絵を描いたりして、それぞれ個性的な灯籠に仕上がりました。最後に電気を消し、ランプでもった手作りの灯籠を、こどもたちは嬉しそうに見つめていました。



## 第17回さめき探訪

6月19日(水)、専門学校穴吹ビジネスカレッジとの共催で、第17回さめき探訪「JR高松駅、瀬戸内国際芸術祭作品、玉藻公園披雲閣 見学会」を実施し、フィリピン、ベトナム、中国、カンボジア、インドネシアなど6カ国から来た16名の外国人留学生が参加しました。JR高松駅では、構内の説明や高松駅の特徴について詳しく話を聞き、今まで知らなかった新しい発見がありました。瀬戸内国際芸術祭作品を鑑賞の際には、その作品の意味について興味を持って質問していました。また玉藻公園披雲閣では、ガイドの方の説明を聞きながら歴史的な建造物に触れ、高松の歴史を学びました。高松をより深く知る機会となり、参加者の方達も楽しんでいる様子でした。



## 令和元年度国際交流支援事業前期活動報告

自分がしていることを外国人に伝えたい、自国の文化や習慣を日本人に紹介したい!市民主体の国際交流活動の促進を図るため、国際交流に関する文化的活動やワークショップを、自由に発信できる場の無料提供や、広報活動のお手伝いをしています。今年度の前期【平成31年4月-令和元年8月】の実施状況を報告します。様々な体験を通じて楽しく異文化を学ぶ内容となりました。

### 【おとなのための基本英会話講座2】

令和元年 5月19日(日) 13:00-15:00  
講師: マシュー・キャッチ

以前開催したおとなのための基本英会話講座が好評だったため、この度第2弾を開催しました。

アメリカ出身の講師、マシュー・キャッチさんは日本語も話せるため、参加者の方は気軽に文法などで分からないことを質問されていました。当日の授業では、助動詞を使って文章の内容をより具体的にする方法や、名詞を動詞として使うなど、口語的でオリジナリティーの出せる内容を勉強しました。授業後は、お茶を飲みながらマシュー先生と話したり、アットホームな雰囲気の講座となりました。



### 【ポリウッドダンスワークショップ】

令和元年 7月7日(日) 10:00-12:00  
講師: 高松市外国語指導助手 プージャ・カンタワル

ポリウッドダンスは、インド・ムンバイを拠点に制作される通称ポリウッド映画の中で見られるダンスの総称で、様々なダンスの要素が盛り込まれた華やかな踊りです。今回、ポリウッドダンスを気軽に学んで、楽しめるワークショップを開催しました。講師のプージャ・カンタワルさんの丁寧な指導のもと、1つ1つ振付を覚え、最後に全員でポリウッド映画音楽をバックに踊って、実際に映画の中で踊っているような気分を味わいました。世代を問わず参加者の方は、ポリウッドダンスを楽しまれていました。





## 第15回小学生英語暗唱大会

今年で15回目となる小学生英語暗唱大会は、7月28日(日)に開催されました。今回は、高松市内及び直島の小学校を含め、全小学校50校中21校から応募があり、低学年25名、高学年24名、合計49名の小学生が発表しました。

今年も、たくさんの観客が来場していましたが、それに臆することなく、元気な声、英語らしい発音、そして表情豊かに発表していました。外国人の審査員の方々は、参加者のレベルの高さに大変感銘を受けており、甲乙つけがたいと講評していました。そして、御家族の方々は、熱心に写真、ビデオ撮影をされており、お子様の頑張っている姿を記録に残していました。

今年出場できなかった方も、来年はぜひ応募してください。



## 令和元年 Kid's 国際理解出前事業

Kid's国際理解出前事業は、外国人国際交流員などが高松市内の幼稚園・保育園を訪問して、子供たちと楽しく国際交流を図るものです。令和元年度は6園を訪問しますが、6月に高松市立木太保育所、敬愛幼稚園、高松市庵治こども園を訪問しました。県国際交流員のチャンミョンフンさんとオーガストさんが、子ども達の年齢に合わせて、多彩なる内容を考えました。外国語の挨拶や絵本の読み聞かせ、クイズの他に、子ども達と一緒に、韓国の伝統遊び「トッホ」をしたり、アメリカの子供達が好きな「I'm a little teapot」を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。



## 国際交流団体紹介 しらさぎ事務所

## 四国カムチャツカ文化交流センター

四国カムチャツカ文化交流センターは、カムチャツカ国立大学で日本語を教えていた教員を中心に、香川とロシアの交流促進を目的として2010年に設立されました。主にロシア人留学生の香川への留学を応援しています。これまでに高松市の穴吹ビジネスカレッジ日本語学科で、短期留学生128名、長期留学生17名が、日本語や日本文化を学びました。特に、日本に2~3週間滞在する夏の短期研修は好評で、何回も高松に来るリピーターが少なくありません。今年から、モスクワからも留学生が来るようになり、今後の交流の進展が期待されています。

四国はこれまでロシアとの交流が少なかったため、ロシア人に対するイメージも白紙に近く、ホームステイなどで留学生を受け入れていただく地元の皆様は、品行方正な留学生に驚き、好印象を抱かれます。また、経済成長を続けるロシアと新たなビジネスを考える企業も少なくなく、当センターがお手伝いしております。

当センターは、合同会社として法人格を有しており、通常業務としてロシア語などの翻訳や語学教育を行っております。

ロシアに御関心のある方は、是非、お気軽にお声かけください。

合同会社四国カムチャツカ文化交流センターしらさぎ事務所  
〒761-2101  
香川県綾歌郡綾川町畑田2267-1  
Tel&fax: 087-877-2507  
sogawa@white-egret.com



高松市長表敬訪問



日本語授業の様子

TIAの今後の主な事業予定

- 2019年
- 10月6日(日) 多文化共生イベント「一緒に暮らすこと⑦」  
在住外国人のためのシミュレーション防災訓練
  - 10月6日(日) 第18回さぬき探訪  
ー香川県園芸総合センター、藤川牧場、道の駅しおのえ他ー
  - 10月14日(月) にほんごスピーチ発表会  
ー私が日本で感じたこと、言っているいいですか?ー  
(かがわ国際フェスタ2019イベント)
  - 10月20日(日) 国際交流こどもスクール  
「せかいのスポーツ教室(フランス編)」
  - 11月3日(日) 秋のお茶会
  - 12月8日(日) 高松市姉妹・友好都市親善派遣研修生帰国報告会
  - 12月15日(日) 世界のスイーツ教室 第13回ドイツ編
  - 12月22日(日) 第3回国際交流スポーツ大会
  - 12月下旬 国際交流こどもスクール  
「せかいのクラフト教室(イタリア編)」 (予定)
- 2020年
- 1月~3月 第19回さぬき探訪
  - 2月予定 多文化共生イベント「一緒に暮らすこと⑧」  
多文化共生トークショー&ワークショップ(仮)
  - 3月下旬 第26回中学生訪中親善訪問団派遣事業

※詳しい日程が決まり次第、TIAのホームページやチラシ等で御案内しますので、是非、御参加ください。

国際交流ボランティア募集

当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は、語学ボランティア、ホームステイ受入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は、是非、登録をお願いします。申込用紙は、協会窓口及びホームページからもダウンロードできます。



「7ヶ国語会話集」好評販売中!

外国からのお客様が、我が家にホームステイすることになったら? 「なんて言えばいいの??!」

答えはこの中から見つかります。 100円



参加費無料

毎週日曜  
『日本語会話クラブ』

13時~16時 アイパル香川3F  
日本語を楽しく勉強しませんか?  
参加費無料! ボランティア講師が参加をお待ちしています!



国際交流団体等への助成金制度のお知らせ

当協会では国際交流団体等が国際交流を目的とする事業に対し、事業費の助成を行っています。

■助成限度額: 最大5万円、事業費の3分の1

前年度、当協会が助成金を交付した団体について、助成金を受給したことにより得られた効果を御紹介します。

【団体名】歓楽春節実行委員会 【事業名】歓楽春節in四国  
(助成金を得たことによる効果)

中国の旧正月「春節」を開催し、中国の伝統芸能や食を通じて市民と交流を深め、助成金を有効に活用させていただき、事業の運営に役立つことができた。



【団体名】仏生山国際交流会  
【事業名】国際交流 みんなで安心防災&楽しもうフットサル・ピンポン(卓球)

(助成金を得たことによる効果)

助成金をいただいたことで、外国人と日本人が防災・防犯訓練やスポーツ大会を通じて交流の機会ができ、それぞれの国の生活・文化等の相互理解を深め、多彩な取り組みを行うことができた。



外国人私費留学生への  
国民健康保険料助成について

令和元年度も、高松市内に在住する私費留学生に国民健康保険料の一部を助成します。詳しくは、事務局へお問い合わせ下さい。



TIA 編集後記

台風シーズン到来!!

今年の高松まつりは、台風10号の影響で、8月13日の花火、14日の総おどりが中止になりました。

我が国際交流おどり子連は、外国人56名を含む総勢65名の踊り子たちが、中央通りを所狭しと元気よく踊る予定でした。

11日の日曜日には、初めて参加する人を中心に踊りの練習を行い、当日の本番を楽しみにしていましたが、天気には逆らうことができず、願いは叶いませんでした。

来年は、リベンジして国際交流旋風を巻き起こしましょう!!

